

第35回 ナーシング・キャリアカフェ in 沖縄 報告書

- I. 日 時： 2016年10月29日（土曜日） 14:00～16:00
- II. 場 所： 沖縄県立看護大学
- III. テーマ： 「ボリビアにおけるプライマリーヘルスケア体制づくりに関する活動経験」
- IV. 講 師： 山城昌子氏（2ターン目 平良健康氏）
学生コーディネーター：喜友名葉 砂川香月 佐藤恵
ファシリテーター：長堀智香子（学内教員）片桐君佳（浦添看護学校教員）
- V. 参加者： 1ターン26名（内講師1名 ファシリテーター2名 コーディネーター3名）
2ターン20名（内講師2名 ファシリテーター2名 コーディネーター3名）
3ターン24名（内講師1名 ファシリテーター2名 コーディネーター3名）
- VI. 担当校： 沖縄県立看護大学 沖縄県看護協会
- VII. プログラム：

時間	内容
14:00～	移動
14:10～14:40	1ターン
14:40～14:50	休憩
14:50～15:20	2ターン
15:20～15:30	休憩
15:30～15:40	3ターン
16:00～	アンケート・写真撮影

VIII. 事前準備

世界のウチナンチュ・ナースディに参加し、講師を務めて下さる方と、沖縄県看護協会、沖縄県立看護大学同窓会、沖縄県看護学術振興財団と打ち合わせ、調整しながら準備を行った。教室飾り付けは沖縄県看護協会が、教室内レイアウト、セッティングは学生が行った。

IX. 目的と方法

講師の体験談をもとに、体験を共有し、情報収集や異文化理解などについて学ぶ機会を得ることを目的とした。

はじめに進行係の学生より講師紹介があった。講師は自己紹介から本題へ。主に、ゆんたくテーブルを囲む学生を中心に話をしていただいた。1ターン目ではボリビアの公衆衛生を中心に話していただき、2ターン目では、スペイン語習得までの軌跡について、3ターン目では、後輩（未来の看護師）に向けてのメッセージをいただく予定とした。実際には、2ターン目はJICAでボリビアに行かれた経験を持つ平良健康氏を迎え、ボリビアの乳児死亡率を下げるプロジェクトについての話を得た。各ターン終わり頃に質問時間を設けた。各ターンは30分で、途中10分休憩を入れた。最後に参加者全員で写真撮影を行い終了した。



X. 内容

山城氏は、公衆衛生プロジェクトでボリビアに1年間滞在し、2箇所のモデル地区で地域の基礎調査を実施された。1ターン目では、行ってみると、与えられた土地には事務所がなく土地のみ。建物を建てる場所からのスタートで、その際の住民との関わりの様子、困ったこと、そこで得たことなどに話された。約束の時間になっても来てくれない現地人。限定されたお金、期間、マンパワーでプロジェクトをすすめるにあたり、大切なことは「人は利用してはいけない。活用はいいけど、利用はダメ。」の言葉が印象に残った。山城氏は、基礎調査時、クリスチャン大学医学部生50名ほどの協力を得た。住民調査の結果、日本ではみられない寄生虫が見つかり、この結果から、住民の健康意識を高めるため、何かしようと、健康展を実施したこと、感染症対策の話も聞くことができた。そして、大切なことは「健康管理、油断しないことね」と話された。



2ターン目では平良健康氏がボリビアの乳児死亡率の割合が高かったことの原因は乳児肺炎や下痢であり、そこで、母子保健教育をするために栄養に関する講話を行い、それが現地の婦人に大反響であったことが話題になった。保健師としての役割には「人材育成」が大切と語られていた。

3ターン目は「後輩たちへ…未来の看護師に向けてのメッセージ」として、JICAで言われる「3あ主義」について教えていただいた。“「あせるな」「あきらめるな」「あなどるな」” また、「腹は立てずに

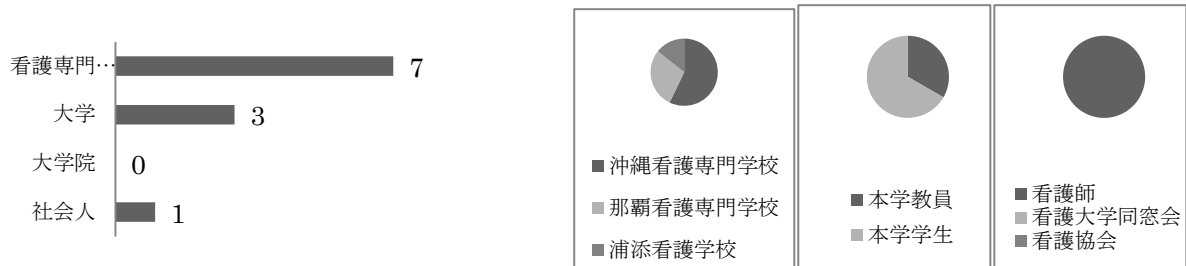
横にして！！こっちがイライラしたらこっちの負け。ま、そこはウチナンチュだから大丈夫と思うけど。」と。「障害はこの先あるだろうけど、コツコツやっていれば夢は必ず叶う。夢を持って！！」とエールを投げかけられた。また、「皆さんは看護師として、リーダーシップがある。誰にいつ触発されるか、眠っているその力がいつ目覚めるか、この先が楽しみです。」と、次世代の看護学生へメッセージを残された。

XI. まとめ

今回の講師は、普段直接話を聞く機会のない、JICA経験者のお話であり、展示物も多く、参加した学生からは、「展示物が見られて良かった。」「面白かった。」との声が聞かれた。現場をより具体的にイメージできたと考えられる。また、3ターンに分かれており、途中の休憩時間に展示物を見たり、講師に直接質問したりする姿が見られ、質問しやすい環境であったと思う。アンケート結果より、チャレンジ精神や学び続ける意欲を今回の体験談から学んだと答える参加者の意見も多く、今後、看護師を続けていくうえで必要なしなやか使命感の1つを学ぶ機会になったと考える。

XII. アンケート内容と結果（回収11枚）

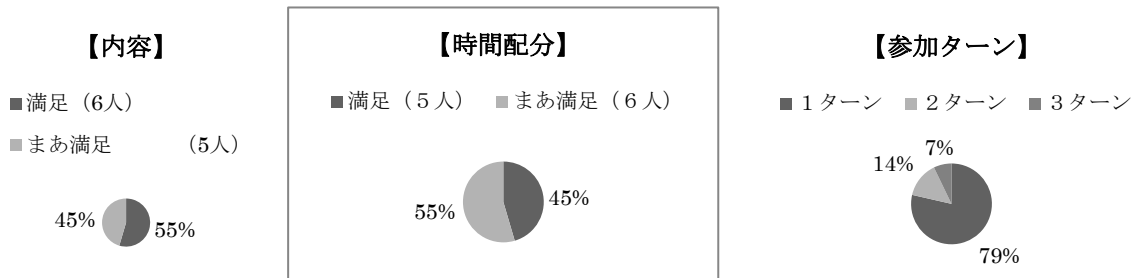
問1) 参加者の属性



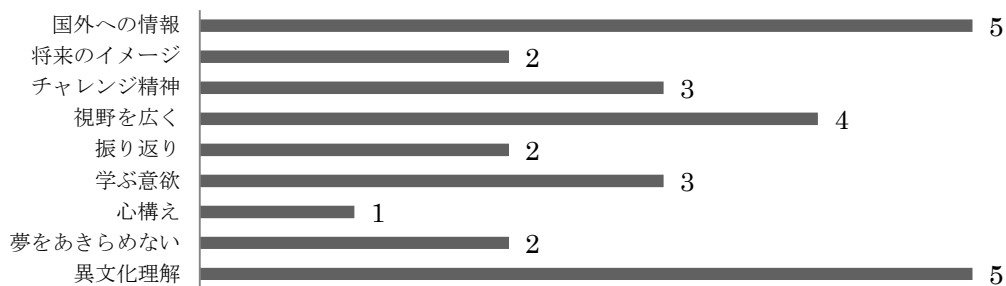
問2) 参加の動機を教えてください。（複数回答）



問4) 今回のナースィング・キャリアカフェの満足度を教えてください。



問5) 今回の講師の体験談から学んだこと（複数回答）



問6) 教室内のパネル展示についてご意見やご感想をお聞かせください

- ・可愛かった
- ・面白かった
- ・看護の活動、看護大の活動が分かって良かった
- ・ボリビアの紹介もあって良かった
- ・分かりやすかった
- ・他職種と連携ができる看護師
- ・時間がなく見るできませんでした